



吉川千香子は、日本古窯の一つである愛知県常滑市を拠点に、40年にわたり作陶活動を行っている陶芸家です。

吉川は、1948年北海道小樽市に生まれ、北海道小樽潮陵高等学校卒業後、上京して武蔵野美術大学で、彫刻を学びます。当時、石彫を手掛けていた吉川は、偶然、常滑で見た大甕の素朴な力強さを見て、土と釉薬が火の力により大きく変貌する陶芸の世界に惹かれ、その道に進みます。以後まったくの独学で、技術と表現を模索していき、1974年から常滑に移住、陶芸のイメージを覆すような作品を制作しています。


作品の主題は、日々の暮らしのなかで、いのちあるものを見つめるところから生み出されてた「ひと、動物、花」です。あらゆる生き物たちの姿に興味を抱き、愛情深く寄り添うなかで、優しく素朴なフォルムが生まれています。伝統的な系譜に属さなかったことは、むしろ制約を離れる強みでもあり、あらかじめ計画を練った制作ではなく、自らの心の動きに従った「手びねり」による自由な表現となっています。カラフルな色彩と柔らかなフォルムがミックスし、ユーモラスで独特の存在感をもった造形となり、多くの人々を魅了しています。

本展は、吉川千香子の故郷小樽での初の展覧会です。主な出品作品は、幼馴染の吉川千香子に、小樽の商家育ちのおおらかな伝統が息づいていると感じ、積極的にその作品を収集した「秋野治郎コレクション」と、常滑のアトリエから吉川自身が自選した作品ならびに新作を加え展覧するものです。



■オープニングイベント■ 吉川千香子アーティストトーク『私の作品と陶芸のまち常滑』  
2023年7月29日(土) 10:30~12:00 2F 特別展示室内 要観覧料

休館日 | 毎週月曜日、8/15(火)  
開場時間 | 9:30~17:00 (最終入館16:30)  
観覧料 | 一般:600円、高校生・市内高齢者:300円、中学生以下:無料

 市立小樽美術館 〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号  
otaru city museum of art Tel:0134-34-0035 Fax:0134-32-2388

協賛：福島工務店 後援：北海道新聞小樽支社／市立小樽美術館協力会



JR函館本線		小樽駅
●小樽経済センター		
●産業会館	長崎屋	●サンビルスクエア
都通り		
●オーセントホテル小樽		
JR旧手宮線		旧手宮線
金融資料館 (旧日本銀行)	◎市立小樽美術館	
	●郵便局本局	
	●小樽芸術村	
	小樽運河	